

2024年6月のブルーベリー農園その3

農園の地べたにはほとんど草が伸び続けている。周囲の田んぼののり面の草刈りが盛んで、切った乾かした後の野焼きの煙がたなびく。

燃やした後ののり面はまるでやいとこのあのような黒い点が現れて緑の景色の中にアクセントを加えてくれる。東広島市豊栄町のブルーベリー農園に安芸区の自宅から通ってブルーベリーの剪定作業をもう少しと言いつつ聞かせて続けている日々。

6月16日(日)

農園の家の裏にホタルブクロが開花。台所から見える



6月21日(金)

ヤブカンゾウの蕾

6月20日(木)

ブルーベリー畑ののり面のネムノキの花が一輪だけ開花。蕾もたくさんついている



ルドベキア(黄色)とヒメジョオン(白色)

6月20日(木) 梅雨が近いので剪定したブルーベリーの枝を野焼きして片付けた



ブルーベリー畑に現れたハナショウブ。種から成長したらしい



農園の周囲にある麦畑はもう刈り取りがすんでいた



ブルーベリー畑の剪定作業

① 一番上の畑



《2024年6月23日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》



② 一番下の畑では防草シートを敷き終えた



里山のブルーベリー園

① ここ数か月ほとんど手入れしていないが、ブルーベリーはよく茂り、栗の木の花が満開に



② 7月初めには収穫できる早稲のブルーベリーの実だが、まだ防鳥ネットを張れてないのでヒヨドリが傷をつけている実があった

2024年6月23日

社会福祉法人安芸の郷 理事長 遊川和良